

豊岡市記者配布資料

年月日	部 課 名	電 話	責 任 者 (役 職 名)
2024 年 11 月 29 日(金)	くらし創造部 地域づくり課	0796-21-9096 (内線 2781)	井上 靖彦 (課長)

(件名)

地域おこし協力隊の幸せな採用 10 の心得「幸の採(こうのと
り)」と地域おこし協力隊の募集情報の公開

(内容)

本市は、株式会社カヤック(本社：神奈川県鎌倉市)が運営する移住・関係人口促進のためのマッチングサービス「SMOUT(スマウト)」と協力し、田口太郎さん(徳島大学大学院教授/令和6年度総務省地域おこし協力隊アドバイザー)の監修のもと、地域おこし協力隊の隊員や受け入れる地域のミスマッチを防ぐための指針をまとめた「地域おこし協力隊の幸せな採用 10 の心得」を発表しました。

また、2024 年 12 月初旬に地域おこし協力隊の募集を開始する予定です。
詳細は別紙を確認してください。

《問合せ》くらし創造部地域づくり課移住定住・若者係(担当 愛原)
TEL 21-9096(内線 2336)

地域おこし協力隊の幸せな採用 10 の心得「^{こうのとり}幸の採」について

1 目的

総務省が 2026 年度までに地域おこし協力隊を 1 万人にするという目標を掲げ、協力隊の認知度が全国的に広がり募集件数も増加傾向にある。一方で、自治体と隊員が望む活動のミスマッチや、地域住民と隊員のトラブルによって、任期途中で隊員を退任してしまうケースも目立ち、運用の改善が課題となっています。

本市ではそれらを極力減らすための採用基準やスキームを用いた採用活動や、着任した隊員への手厚いサポート体制などによって、全国平均よりも高い定着率や活発的な協力隊が多く集まることにつながっている。

こうした本市の協力隊の採用基準やスキーム、サポート体制をプロモーションに活用することで、協力隊や本市のイメージアップ、本市の協力隊の採用の質の向上を図るための施策として、地域おこし協力隊の幸せな採用 10 の心得「幸の採」を作成した。(別紙 1－2 参照)

2 コンセプト・内容

移住スカウトサービス「SMOUT」を運営する株式会社カヤック（神奈川県鎌倉市）に協力をいただき、地域おこし協力隊・地域（住民）・地方公共団体の三方が幸せとなるために必要な 10 の要素をまとめた。監修にあたっては、徳島大学大学院・田口太郎教授にご協力をいただいた。

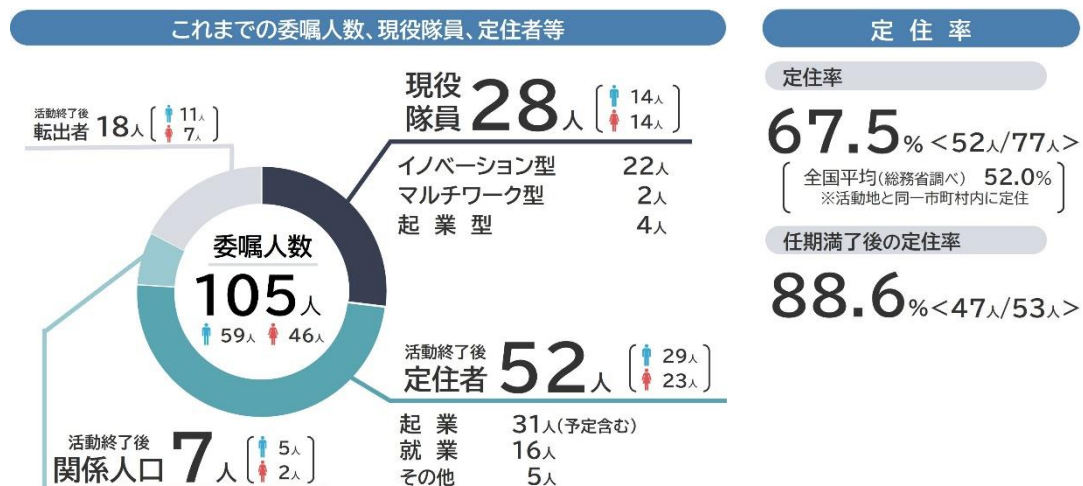
豊岡市は、国の特別天然記念物であるコウノトリと共に生きるまちづくりに取り組んでおり、コウノトリと同じように、地域おこし協力隊も豊岡市にとって大切な存在であるという思いを込めて、モチーフは、豊岡市のシンボルであるコウノトリをもとにデザインした。また、愛着を持って覚えてもらうために、10 の心得の頭文字を繋げると「しあわせなまっちゃんぐ」になるように構成し、さらに豊岡市の温かみを感じられる方言を取り入れた。

■地域おこし協力隊の幸せな採用 10 の心得

心 得	説 明
「し」 つくりきとるんか。 受け入れ目的と意思確認	豊岡市は、地域おこし協力隊の受け入れ団体と両方で話し合い、地域おこし協力隊を受け入れる意思と目的を明確にします。これはミスマッチを防ぐ第一歩です。
「あ」 んしんだっちゃ！ 地 域が連携、受け入れ体制	地域おこし協力隊の採用から着任後のサポートまで、受入団体と協力隊担当そしてサポート団体が連携体制をとっています。
「わ」 いらあの仲間に思い やり。卒業後も考えた採用	「着任する協力隊のこと」はもちろん「受け入れる地域のこと」も大切に考えます。採用方法や着任後の環境そして、卒業後のことも考えた採用計画を立てています。
「せ」 んめいにしてみんち	豊岡市では、選考の過程で必ず現地に来ていただき、関係

やー！着任後のすがた	者と交流していただきます。活動の説明を丁寧に行いながら、応募者側と受入側 のイメージギャップをしっかりと埋めていきます。
「な」んとなくは、あっきや〜へん。本音のコミュニケーション	相互理解を深めて、幸せな採用を目指します。協力隊希望者と採用側が本音のコミュニケーションを取れる ように環境づくりを心がけています。
「ま」っとくでー、よーけ設ける準備期間	採用が決定後も移住の準備期間をしっかりと設けて、安心して移住してもらうようにサポートします。
「っ」ながりでやあーじ、一人にせんよサポート体制	着任後に、協力隊が孤独にならないように、交流会や研修会そして定期的な活動サポートを行います。「ちいきのて」という協力隊のサポート団体も準備しています。
「ち」ょうどええ、気持ちよく活動できる環境づくり	協力隊が気持ちよく活動しやすい環境づくりを目指します。活動経費の有効活用や研修機会などを設けたり、活動効率をあげる業務管理ツール「kintone」も導入しています。
「ん」？！もう卒業？だんにやーで！準備は万端	協力隊の卒業後に地域で活躍できるようにサポートします。例えば、起業のための事業計画づくりのサポートや協力隊起業補助金を市独自で上乗せしてサポートしたり、金融機関と連携した研修など用意しています。
「ぐ」っとくる出会いのために、わいらあの日々進化	幸せなマッチングを心がけた結果が、豊岡市の高い定着率につながっていると感じています。これからもより良いマッチングのあり方について考え、改善を続けていきます。

3 参考（豊岡市の地域おこし協力隊の現状）



以上

し

っくりきとるんか。
受け入れ目的と
意思確認

豊岡市は、地域おこし協力隊の受け入れ団体と両者で話し合い、地域おこし協力隊の受け入れる意志と目的を明確にします。これはミスマッチを防ぐ第一歩です。



あ

んしんだっちゃ！
地域が連携、
受け入れ体制

地域おこし協力隊の採用から着任後のサポートまで、受入団体と協力隊担当そしてサポート団体が連携体制をとっています。



わ

いらあの仲間に
思いやり。
卒業後も考えた採用

「着任する協力隊のこと」はもちろん「受け入れる地域のこと」も大切に考えます。採用方法や着任後の環境そして、卒業後のことも考えた採用計画を立てています。

せ

んめいにして
みんちゃー！
着任後のすがた

豊岡市では、選考の過程で必ず現地にきていただき、関係者と交流していただきます。活動の説明を丁寧に行いながら、応募者側と受入側のイメージギャップをしっかりと埋めていきます。



な

んとなくは、
あつきや〜へん。

本音のコミュニケーション

相互理解を深めて、幸せな採用を目指します。協力隊希望者と採用側が本音のコミュニケーションを取れるように環境づくりを心がけています。



幸の採

こう とり
コウノトリが教えてくれた
地域おこし協力隊の幸せな採用 10 の心得

ま

とくでー、
よーけ設ける
準備期間

採用が決定後も移住の準備期間をしっかりと設けて、安心して移住してもらうようにサポートします。



つ

ながり じゃあーじ、
一人にせんよ
サポート体制

着任後に、協力隊が孤独にならないよう、交流会や研修会そして定期的な活動サポートを行います。「ちいきのて」という協力隊のサポート団体も準備しています。

ち

ようどええ、
気持ちよく活動
できる環境づくり

協力隊が気持ちよく活動しやすい環境づくりを目指します。活動経費の有効活用や研修機会などを設けたり、活動効率をあげる業務管理ツール「kintone」も導入しています。



ん

ん?!もう卒業?
だんにやーで!
準備は万端

協力隊の卒業後に地域で活躍できるようにサポートします。例えば、起業のための事業計画づくりのサポートや協力隊起業補助金市独自予算も上乗せしてサポートしたり、金融機関と連携した研修など用意しています。

ぐ

っとくる
出会いのために、
わいらあの
日々進化

幸せなマッチングを心がけた結果が、豊岡市の高い定着率につながっていると感じています。これからもより良いマッチングのあり方について考え、改善を続けていきます。



豊岡市地域おこし協力隊の冬募集について

2024年12月募集一覧 活動開始想定:2025年4月から

	活動メニュー名(仮題)	受入団体 / 連携団体	募集人数
1	IT × 農業でひきこもり支援プロジェクト	NPO法人 コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク	1 人
2	「環境と経済の好循環」を生み出すプロジェクト	(株) コウノトリ羽ばたく会	1 人
3	「スポーツの力でまちを元気に！」プロジェクト	豊岡市スポーツ協会 / 円山川・城崎ローイング協会	2 人
4	伝統技術の継承「城崎麦わら細工」	かみや民藝店	1 人
5	伝統技術の継承「出石焼」	出石焼陶友会	1 人
6	映画を通じた地域活性化プロジェクト	豊岡映画センター	1 人
7	100年前のまちなみを活用した市街地の活性化	一般社団法人 マチノイト	1 人
8	地域資源を活用した起業	一般社団法人 ちいきのて	1 人

※各活動メニューの募集の詳細は、12月初旬に移住スカウトサービス「SMOUT」(スマウト)にて公開予定です。

合計 **9** 人